

550.378 (523.5)

高知県石立山西側地区放射能強度について

清島 信之

高知・徳島県境をなす石立山周辺には秩父帯南帯に属する中期二疊紀の虚空蔵山層群がほぼ東西に分布し、その南側は三疊紀～ジュラ紀の大柄層群が断層をもつて接する。従来四国では古期岩類の放射能異常地として愛媛県上浮穴郡柳谷村における古生層の一部で、黒色千枚岩が知られており、石立山西側地区の虚空蔵山層群はこれに対比されるが、これを構成するチャート・輝緑凝灰岩・石灰岩および粘板岩・砂岩互層らには何ら異常は認められなかった。

(福岡駐在員事務所)

550.378 (523.5) : 552.3

高知県幡多郡黒尊溪谷放射能強度について

清島 信之

高知・愛媛両県境近くの高月山は外帯第三紀火成岩類の一員である高月山花崗岩からなり、周囲の中生層にかなり広範囲に変質を与えていることより、その鉱化作用に注目してすでに周辺の調査が行なわれているが、今回は未調査の南城を調査し、高月山周辺を完結した。調査結果は従来と同様、著しい放射能異常は認められず、放射能強度は中生層ホルンフェルスで、自然計数の1.4倍、高月山花崗岩(黒雲母花崗岩)は同じく1.7倍を示した。

(福岡駐在員事務所)

550.378 (522.6) : 551.782

日田盆地周辺玖珠川上流付近の放射能研究調査報告

古川 俊太郎

玖珠川上流地域に分布する新第三紀堆積岩層を主体にその地域に分布する各種岩石・岩層の放射能異常の有無を知ることを目的として研究調査を行なった。調査にはDC-P5型シンチレーション・カウンタを使用した。

この結果当地区内においては、放射能強度は自然計数値に対して各種岩石とも異常は認められなかった。

(福岡駐在員事務所)

550.378 (522.8) : 551.781

鹿児島県大隅半島東南部地域の放射能強度

分布調査の概要

肥田昇* 原田種成** 清水道也***

筆者らは、大隅半島東南部地域について放射能強度分布調査を行なった。この地域は、日南層群(古第三紀)の頁岩・砂岩の互層、これを貫ぬく黒雲母花崗岩、これらを被覆する熔結凝灰岩および浮石質角礫凝灰岩(シラス)などからなっている。これらについて100カ所近い地点につき放射能強度分布の調査を行なったが、異常地点は全く発見されなかつた。用いた測定器は医理学研究所製、DCP-V型シンチレーション・カウンタであり、調査地域は、肝属郡志分志町・串良町・高山町・吾平町・大根占町・内之浦町および田代村に及んでいる。

(*鉱床部 **元所員 ***技術部)

550.378 (522.8) : 551.781

鹿児島県大隅半島南部地域の放射能強度

小村幸二郎* 原田種成**

筆者らは、大隅半島南部区域について放射能強度分布調査を行なった。この地域は、古第三紀層とこれを貫ぬく黒雲母花崗岩、およびこれらを覆う第四紀熔結凝灰岩(灰石)、シラスおよびローム等によって構成されている。これらについての放射能強度分布の調査結果は、異常地点は認められない。調査に用いた測定器は、医理学研究所製、DCP-V型シンチレーション・カウンタであり、調査対象地域は肝属郡根占町・田代町・佐多町などである。

(*鉱床部 **元所員)

550.378(522.8) : 551.782

鹿児島県川辺郡笠沙町付近の放射能研究調査報告

古川 俊太郎

核原料物質研究調査の一環として、鹿児島県川辺郡笠沙町周辺に分布する新第三紀層の堆積岩層を中心に付近の各種岩石に含まれている放射性物質の分布状態を知るためにDCP-5型シンチレーション・カウンタを使用して放射能強度の研究調査を実施した。

この結果当地域における放射能強度は、新第三紀層の基盤をなす花崗斑岩類および四万十層群中の黒色粘板岩中に一部自然計数の1.4~1.5倍の放射能強度の高い部分が認められる程度で放射能異常地は認められなかった。

(福岡駐在員事務所)